

もっと自分らしく輝くi(アイ)ママ事業【飯綱町】

地域の実情と課題

- ・子育て世帯の仕事と子育ての両立をめざし、H29.5月に「飯綱町ワークセンター(iワーク:子育て世帯の在宅ワーク施設)」を設置した。iワークは、働く意欲のあるママ達の就労や起業の相談、在宅ワーク(託児完備)の設備提供、スキルアップセミナー等を実施し、1日平均7~10名が利用している。しかし、本来はママ達が自主的に自分に合った仕事やスキルを身に着ける活動をすべきであるが、実際は町が提供をしているセミナー・サービスを、一律に受けている状況である。(ママ達もどんな仕事か自分に合っているかまだわかっていない・まだ収入につながっていない・身近に起業したママがいないため、なかなか踏み出せない)
- ・起業を考えている子育て中の女性が、実際に子育てをしながら、自分の好きなことを仕事にして起業した方に直接相談したり、アドバイスを受けたりする場の提供が必要である。

事業の特徴

- iママフェスタ2020オンラインの開催(7月12日(日)10:00~16:00)
「子育ても仕事も自分らしく」をコンセプトに、子育て世帯の就労・起業イベントをInstagramとYouTubeでライブ配信。
- ・内外の子育て中で自らが製作した商品等を扱う出店者(アクセサリー、クラフト、スイーツ、ワークショップ等)26ブースを1ブース当り3分間自由にPRしてもらい、出品者と司会者の対話を配信。
- ・新型コロナの影響でステージ発表の場を失った飯綱中学校吹奏楽部の演奏及び長野県立大学生地域貢献サークルによる幼児向け手遊び歌を事前に収録したVTRを番組内で配信し、地域住民はもとより多くの子育て家庭が閲覧することができた。
- ・zoomによるワークショップでは、初めてweb会議を体験する町内ママも交え、子育てや在宅ワークの悩み、子育てをしながら仕事をする工夫など、ファシリテーターを中心に活発な意見交換がされた。また、親子ピクニック、親子キッチン、元プロサッカー選手によるスポーツ教室、ママを応援する企業9ブースの紹介等も実施した。

事業の効果

事業KPI(アウトプット)は、入場者数1,000人の目標である。新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となったが、iママフェスタホームページからアクセスする当日のYouTubeの参加者が700人程度。また、周知期間(5/1~7/15)のホームページアクセス数は1,900人程度、Instagram(7/8~7/14)は2,000人程度となり、入場者数とアクセスした参加者(閲覧者)と一概に比較はできないと思われるが、おおむね目標を達成していると考えられる。

目的・目標

- 内外の子育て中の女性等が、多様な働き方で自分の得意なことを仕事として起業するなど、生き生きと子育てと仕事を両立させている多くの事例に触れ、楽しみながら学ぶ場を提供できるイベント「iママフェスタ2020オンライン」を開催。家族でも楽しめる様々な自分らしい仕事をしている子育て中の女性の紹介をし、プチ起業や働くことへの理解を深めていただく。
- ・飯綱町の子育て支援策や地域資源の売り込み(営業)をし、移住に繋がるイベントとしたい。
- ・特に、起業を考えている方が、実際に子育てをしながら起業した出店者に直接相談したり、アドバイスを受けたりする貴重な機会となるよう、zoomによるワークショップも開催。
- ・iママフェスタホームページからアクセスするYouTube、Instagramの参加数が700人程度。、多くの方に参加していただいた。

連携団体

iママ事業ネットワーク

飯綱町総合戦略推進会議、飯綱町子ども子育て応援会議、飯綱町ワークセンター、千葉県流山市ワーキンググループ(トリスト、マチミン)、株式会社カンマッセいづな(飯綱町まちづくり会社)、だんだりの会(女性団体)、赤東区、飯綱町教育委員会

今後の課題

オンラインイベントでは、様々なコンテンツをプログラム化して配信したが、見たいものだけを選んで時間が来たらずアクセスする方が大半を占めると思われる。今回は、当初の集客型イベントの内容をオンラインに移行したものであったため、配信するコンテンツによって参加者(閲覧者)が偏る傾向が見られた。今後は、テーマを絞るとともに、番組構成、配信時間等をよく検討する必要がある。また、何らかのコミュニケーションツールにより、参加者の意見を汲み取る手段が必要である。

事業の概要

「子育ても仕事も自分らしく」をコンセプトに、子育て世代の就労・起業イベントを、オンラインでZQ(ズク:飯綱町情報発信移住サポート町民交流センター)にスタジオを設営し、Instagram及びYouTubeでライブ配信を実施した。

